

第42回風力エネルギー利用シンポジウム開催要項

- 名 称 : 第42回風力エネルギー利用シンポジウム
- 開催目的 : 風力エネルギーの利用や導入拡大に向かって国内外の最新状況と課題等について、その理解、促進を図ることを目的とする。
- 経緯・背景・内容 : 別紙1
- 開催日 : 令和2年11月26日(木)、27日(金)
(1日目/依頼講演、2日目/一般研究発表)
- 1日目のプログラム : 別紙2(予定)
- 会 場 : オンラインによる開催
- 参加費 :

正会員	20,000円
学生会員・一般学生	3,000円
協賛・後援団体所属	20,000円
一般	25,000円
- 参加者数 : 約300名(予定)
- 主 催 : 一般社団法人日本風力エネルギー学会
- 協 賛(予定) : 一般社団法人日本小形風力発電協会、一般社団法人日本風力発電協会
(五十音順)
- 後 援(予定) : 国立研究開発法人産業技術総合研究所、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構、一般財団法人新エネルギー財団、一般社団法人ターボ機械協会、公益財団法人日本科学技術振興財団、一般社団法人日本風工学会、一般社団法人日本太陽エネルギー学会、一般社団法人日本電機工業会、風力発電推進市町村全国協議会(五十音順)
- 連絡先 : 〒102-0021 東京都千代田区外神田 2-13-7 ダイニチ神田ビル4階
一般社団法人日本風力エネルギー学会
第42回風力エネルギー利用シンポジウム事務局 担当 中尾 徹
TEL:03-3526-3400、FAX:03-3526-3410 E-mail:sympo@jwea.or.jp

経緯： 1973年の石油危機によって石油代替エネルギーの開発の必要性が高まったのを契機として、1977年11月に日本風力エネルギー協会(2011年6月に一般社団法人日本風力エネルギー学会に名称変更)が設立され、2017年には、創立40周年を迎えました。『風力エネルギー利用シンポジウム』は、1979年以来、風力エネルギーの利用を広く社会に普及させることを目的に開催しています。

背景： 経済産業省は、「第5次エネルギー基本計画」において、再生可能エネルギーを2030年に電源構成の最適化を図るエネルギーミックスの中で経済的に自立した主力電源として位置づけています。なかでも、風力発電はコスト競争力にある電源として、電力市場への統合を図ることが期待されています。また、2019年4月1日に「海洋再生可能エネルギー発電設備の整備に係る海域の利用の促進に関する法律」が施行され、国の主導により洋上風力発電の一般海域への長期占有を可能とする方向性が示されました。前記エネルギー基本計画、改正港湾法(2016年7月施行,2019年2月14日一部改正)等の新法に基づき、海域や港湾の利用ルール整備や、コストを低減させる取り組みは、洋上風力発電の導入促進に繋がるものと考えられます。さらに、2020年4月1日に「発電電分離」が実施されました。これは、ガス会社や再生可能エネルギー等を手掛ける「新電力」と既存の電力会社が公平に送配電網を使えるようにして競争原理を促し、電気料金の引き下げを狙ったものです。これにより風力発電をはじめ再生可能エネルギーの利用拡大に結び付くことを期待したいものです。

内容： 本年度のシンポジウムは、このような状況を鑑み、第1日目の午前には、2014年にノーベル物理学賞を受賞された名古屋大学特別教授の天野 浩先生からのビデオメッセージを紹介するとともに、産官学民の第一線で活躍されている方々を講師に迎え、風力エネルギーに係る最新情報と今後の方向性についてご講演をいただきます。午後には風車メーカーから風車の開発と市場展望について、ご講演をいただきます。さらに、学会関係者より風力分野においてグローバルで活躍する女性研究者・技術者の育成・支援を行うための行動計画などについて発表いたします。第2日目は、一般研究発表の場として、例年通り風力エネルギーの高度利用および関連技術の新たな進展に関する学術論文の発表を行います。

今後、本シンポジウムが我が国の風力発電の技術進歩ならびに風力発電産業の活性化に寄与するものになることを心から希望し、皆様の参加と活発な議論を期待いたします。

第42回風力エネルギー利用シンポジウム 初日プログラム(案)

11月26日(木) 依頼講演、11月27日(金)一般研究発表

依頼講演 (司会:三保谷 明 副会長)

No	ご講演題目(仮題)	ご講演者(予定)
	開会挨拶	前田 太佳夫 会長
1	ビデオメッセージ	2014年ノーベル物理学賞受賞者 名古屋大学特別教授 天野 浩氏
2	我が国の風力発電の促進政策について	資源エネルギー庁 新エネルギー課 課長 清水 淳太郎 氏
3	洋上風力発電に関する環境の整備について	国土交通省 港湾局 海洋・環境課 課長 松良 精三 氏
4	浮体式洋上風力発電開発について	環境省地球環境局 地球温暖化対策課 課長補佐 岸 雅明 氏
5	風力発電の安全に関する最近の動向について	経済産業省 電力安全課 新エネルギー設備担当課長補佐 大神 広記 氏
6	風力発電研究開発事	新エネルギー・産業技術総合開発機構 新エネルギー部 風力・海洋グループ 統括調査員 伊藤 正治 氏
	昼休み	

テーマ1 製品開発と市場展望 (司会:今村 博 副会長)

7	陸上大型風車の開発現状と将来展望	GE Renewable Energy 北アジア代表 大西 英之 氏
8	洋上大型風車の開発現状と将来展望	MHIヴェスタスオフショアウィンド マネージャ 羽山 考一 氏
9	洋上大型風車の開発現状と将来展望	Siemens Gamesa Renewable Energy社
	休憩	

テーマ2 学会からの報告 (司会:本田 副会長)

10	我が国の風力エネルギー導入と産業振興	前田 太佳夫会長
11	本会における女性登用に関する行動計画	今村 博副会長
	閉会挨拶	三保谷 明 副会長